

済生会地域包括ケア連携士 養成研修会



済生会地域包括ケア連携士は、ソーシャルインクルージョンの推進役を担う済生会が認定する職種です。本研修会は、複合化・複雑化した相談を受け止め、多機関と協働し必要な支援につなげることができる人材を養成することを目的としています。

参加費

11,000円

※済生会職員は1万円



◎事前学習 e-ラーニング 9月1日～10月15日

◎WEB研修 10月16日 13:30～16:15

- オリエンテーション
- 意思の尊重と自己決定支援
- 地域包括ケアシステムと地域共生社会

◎対面研修 10月26日 9:30～17:00 (済生会宇都宮病院 みやのわホール)
(1日目)

9:30～9:45	オリエンテーション
9:45～10:15	連携士による地域包括ケアの展開 済生会本部 社会福祉・地域包括ケア課課長心得 鈴木 孝尚様
10:30～12:00	医療・福祉・介護の連携と多職種連携 宇都宮市医師会在宅医療・社会支援部担当理事 村井クリニック 院長 村井 邦彦様
13:00～14:30	地域共生社会とソーシャルワーク とちぎボランティアネットワーク 独立型社会福祉事務所 NPO法人フードバンクうつのみや 理事 小澤勇治様
14:45～16:50	グループワーク①「地域課題とその解決に向けて」

◎対面研修 10月27日 9:30～12:30 (済生会宇都宮病院 みやのわホール)
(2日目)

9:30～11:00	ソーシャルワークに必要な応用行動分析学の基本 作新学院大学大学院心理学研究科 作新学院大学人間文化学部 教授 高浜浩二様
11:00～12:20	グループワーク②「連携士として活動してみたいこと」

◎受講対象者 医療・福祉・介護連携に関する実務経験が3年以上あり、
医療・福祉・介護の基礎資格を有する方、行政職員等。

地域に、人に、よりそう病院でありたい



【問い合わせ先】

とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会
電話:028-600-1725 担当:倉持

主催：栃木県済生会支部
共催：とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会

栃木県ホームヘルパー協議会
 栃木県医療社会事業協会
 一般社団法人栃木県社会福祉士会
 一般社団法人栃木県介護福祉士会
 一般社団法人栃木県精神保健福祉士会

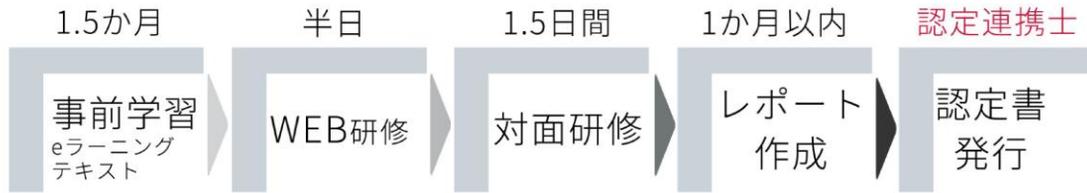
後援：
 宇都宮市 宇都宮市社会福祉協議会
 栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会

募集人数： 50名
申込締切：9月30日



お申し込みは
こちらから

カリキュラム内容



済生会地域包括ケア連携士養成研修会 eラーニング動画コンテンツ一覧

科目	内容	動画時間
ソーシャルインクルージョンの理念に基づくまちづくり	宇都宮市つながりサポート女性支援事業（生理的貧困等）①	12分
	宇都宮市つながりサポート女性支援事業（生理的貧困等）②	25分
	地域包括ケア推進 ボランティアの養成（鹿児島）①	8分
	地域包括ケア推進 ボランティアの養成（鹿児島）②	4分
	地域包括ケア推進 ボランティアの養成（鹿児島）③	5分
	ウエルネスタウン構想と済生会ビレッジの活動（北海道）①	23分
	ウエルネスタウン構想と済生会ビレッジの活動（北海道）②	13分
住民協働での地域生活課題への取り組みと地域づくり	特別養護老人ホーム長和園の概要と地域における公益的取組み	9分
	住民ニーズ会議と事業展開	8分
	子ども食堂と大人食堂	10分
	高齢者カフェと子育てカフェ	11分
生活困窮者支援と更生保護	事業運営と効果（地域共生社会の実現に向けて）	9分
	生活保護法と生活困窮者自立支援事業	13分
	山口圏域生活支援協議会の取り組み	14分
	山口圏域生活支援協議会による活動の成果	15分
	矯正施設退所者への支援①（概要と就労支援）	9分
医療分野における連携と支援	矯正施設退所者への支援②（関連施設での支援）	21分
	全国済生会刑余者等支援推進協議会の活動	4分
	唐津地区における地域包括ケア	12分
	医療福祉情報会議による多職種連携	14分
	入退院支援における多職種連携	16分
高齢分野における連携と支援	入退院支援と地域の看護の質向上	10分
	済生会地域包括ケア連携士の取り組み	13分
	高齢期における住まいと支援	16分
障害分野における連携と支援（障害全般と身体障害）	看護小規模多機能居宅介護と科学的介護	8分
	地域における見守り体制づくり	25分
	障害者総合支援法のサービス利用方法①	7分
	障害者総合支援法のサービス利用方法②	10分
	重症心身障害者への支援①	3分
	重症心身障害者への支援②	20分
	視覚障害者への支援①	3分
	視覚障害者への支援②	12分
	聴覚障害者への支援①	3分
	聴覚障害者への支援②	24分
医療的ケア児・者を地域で支えるネットワーク	13分	
児童分野における連携と支援（社会的養護）	乳児院における支援①	6分
	乳児院における支援②	12分
	児童養護施設における支援①	10分
	児童養護施設における支援②	13分
	里親への支援①	6分
	里親への支援②	17分
	児童家庭支援センターにおける支援	16分

科目	内容	動画時間
児童分野における連携と支援（障害特性に応じた支援）	重症心身障害児への支援①	7分
	重症心身障害児への支援②	26分
	医療的ケア児への支援	10分
	障害児通所支援（放課後等デイサービス）①	13分
	障害児通所支援（放課後等デイサービス）②	14分
	障害児通所支援（保育所等訪問支援）①	4分
障害分野における連携と支援（知的障害）	障害児通所支援（保育所等訪問支援）②	16分
	知的障害者への支援①	15分
	知的障害者への支援②	10分
	知的障害者への住まいの支援（グループホーム）	3分
	知的障害者への就労支援（就労移行支援）①	5分
	知的障害者への就労支援（就労移行支援）②	21分
障害分野における連携と支援（精神障害）	知的障害者への就労支援（就労継続支援）①	4分
	知的障害者への就労支援（就労継続支援）②	7分
	知的障害者への就労支援（就労継続支援）③	10分
	精神障害者の理解	9分
	ひきこもりと8050問題	4分
	精神疾患の理解①（概要と認知症）	9分
障害分野における連携と支援（発達障害）	精神疾患の理解②（統合失調症）	7分
	精神疾患の理解③（うつ病）	10分
	当事者と家族の悩み	6分
	精神分野も含めた地域包括ケアと措置入院	15分
	精神分野における多職種連携	14分
	地域におけるケア会議と地域連携	10分
障害分野における連携と支援（発達障害）	発達障害の基本①	17分
	発達障害の基本②（ペアレントメンター）	13分
	児童発達支援センターにおける支援①	11分
	児童発達支援センターにおける支援②	35分
	発達障害者支援センターにおける支援①	4分
済生会地域包括ケア連携士の活動促進について（管理職向け動画）	発達障害者支援センターにおける支援②	10分
	はじめに	5分
	アウトリーチ	12分
	事業化	10分
	多職種・多機関連携	13分
支援者養成	5分	
当事者理解	10分	

テーマイメージ

ソーシャルインクルージョンのまちづくり

住民協働での地域生活課題へのとり組と地域づくり

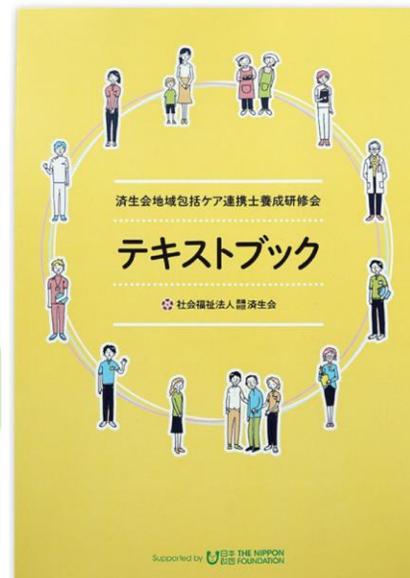
生活困窮者支援と更生保護

医療・福祉・介護の連携と多職種連携

医療・福祉・介護の支援

ソーシャルワーク

ICF関連



現場の実践例や学習等のポイントがけいさいされており、支援方法の理解を深めることができます。

済生会地域包括ケア連携士養成研修会（栃木県開催） 開催要綱

1. 目的

「済生会地域包括ケア連携士養成研修会」を栃木県において開催し、地域の支援相談専門職が一堂に会し、多職種連携により地域の課題解決を学び、話し合い、相互の顔の見える連携体制づくりを行うことで、地域共生社会およびインクルーシブ社会の実現に寄与することを目的とする。

2. 背景

社会福祉法人恩賜財団済生会（以下、済生会）は、全国で幅広く医療・福祉サービスを提供するとともに、生活困窮者支援や地域貢献活動などを行い、だれも取り残さない社会の実現を目指す日本最大の社会福祉法人になります。

済生会では、地域共生社会の実現に向け、法人の理念や特徴を生かした地域包括ケアの推進、潜在的ニーズの把握や新たなサービス開拓、住民との課題解決、インクルーシブ社会の実現等に貢献する人材を育成するため「済生会地域包括ケア連携士養成研修会」を法人本部で開催してきました。

地域共生社会の実現に向けて重層的支援体制の整備が求められる中、関係機関や住民等との連携や地域ニーズの把握・課題解決に貢献できる人材の重要性も高まったことで、本研修は法人外からの受講依頼も来るようになりました。また、本研修が地域共生社会の実現に資する人材育成に貢献することから、自治体・財団の補助金の助成対象にもなりました。さらに、本研修会の修了者を重層的支援体制整備事業の連携・調整役として配置する自治体の動きもあるなど、本研修は地域共生社会の実現と高い親和性をもって発展してきました。

3. 主催

栃木県済生会支部

4. 共催

とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会

（一般社団法人栃木県社会福祉士会、一般社団法人栃木県介護福祉士会、一般社団法人栃木県精神保健福祉士協会、栃木県医療社会事業協会、栃木県ホームヘルパー協議会）

5. 後援

宇都宮市（調整中） 宇都宮市社会福祉協議会

栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会

6. 日時

（1）eラーニング・テキストによる事前学習期間

令和6年9月1日 から 令和6年10月15日 まで

（2）WEB・対面による研修

WEB：令和6年10月16日 対面：令和6年10月26日・10月27日
(3) レポート提出期限 令和6年11月30日

7. 会 場

済生会宇都宮病院 みやのわホール（住所：栃木県宇都宮市竹林町 911-1）

8. 日程・内容

別紙参照

9. 参加対象者（定員50名）

連携に関する実務経験が3年以上あり、医療・福祉・介護の基礎資格を有する者、
行政機関・社会福祉協議会等の職員等。

10. 参加申し込み

QRコードからの申し込み



<https://forms.gle/6YkuM7wxsjHHngSLA>

11. 受講費用

11,000円 済生会職員 10,000円

12. 個人情報の取扱いについて

(1) 個人情報の利用について

参加申込書に記載された個人情報は、参加申込の受付、研修会の運営に必要な範囲内に限って使用いたします。

(2) 参加者名簿の作成について

研修会参加者同士の交流を図る目的で、申込書の記載情報を基に参加者名簿を作成し、配布資料として使用いたします。

13. 研修受講認定書の発行について

この研修会は、研修会終了後に認定を行い、認定された本会職員には（連携士認定書）を、本会以外の職員等には（認定連携士認定書）を発行します。

14. 問い合わせ先

とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会 事務局（担当：倉持）

〒320-8508 栃木県宇都宮市若草 1-10-6 とちぎ福祉プラザ内 3 F

TEL：028-600-1725 e-mail：tacsw@minos.ocn.ne.jp

9：00～17：00 ※土日祝日はお休みです

(別紙) 済生会地域包括ケア連携士養成研修会 (栃木県開催) プログラム

事前学習 (9月1日～10月15日)	
1.5 か月	eラーニング・テキストにより事前学習
	(eラーニングの科目は別紙一覧のとおり)

WEBによる開催 10月16日 (本部開催)	
13:30～14:00	オリエンテーション
14:00～15:00	意思の尊重と自己決定支援
15:00～15:15	休憩
15:15～16:15	地域包括ケアシステムと地域共生社会

対面による研修 10月26日・10月27日 (2日間)	
【1日目】	
9:30～9:45	オリエンテーション
9:45～10:15	連携士による地域包括ケアの展開 済生会本部 社会福祉・地域包括ケア課課長心得 鈴木 孝尚 様
10:15～10:30	休 憩
10:30～12:00	医療・福祉・介護の連携と多職種連携 宇都宮市医師会在宅医療・社会支援部担当理事 村井クリニック 院長 村井邦彦 様
12:00～13:00	昼 食
13:00～14:30	地域共生社会とソーシャルワーク とちぎボランティアネットワーク 独立型社会福祉士事務所 NPO 法人フードバンクうつのみや 理事 小澤勇治 様
14:30～14:45	休 憩
14:45～16:50	グループワーク① 地域課題とその解決に向けて
16:50～17:00	連絡事項
【2日目】	
9:30～11:00	ソーシャルワークに必要な応用行動分析学の基本 作新学院大学大学院心理学研究科 作新学院大学人間文化学部 教授 高浜浩二 様
11:00～12:20	グループワーク② 連携士として活動してみたいこと
12:20～12:30	閉 会

対面による研修 終了後	
1 か月以内	レポート作成